

2020年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 国際学専攻__ 選抜区分__一般__
科目名 日本語教育学・日本語学・日本文化学

解答例又は出題意図

I 用語選択問題

(1) 景観言語学 (landscape linguistics)

公共空間にある看板や掲示、標識などに見られる文字言語を扱う学問領域を指す。言語景観にはそれぞれの地域の文化や社会、経済状況などが反映されている。例えば、交通標識が日本語以外の言語でも書かれている多言語表示なのかなどに関心が向けられる。

(2) レジスター (register)

言語使用域とも呼ぶ。人が言葉を使う際に、場面や状況に応じて、使用する言葉が変化することを指す。例えば、職場では「私が行きます」のような丁寧体を使い、家では「僕が行く」のように普通体で話すことなどを指す。

(3) 在留資格「特定技能」

2019年に新たに創設された在留資格。外国人労働者を受け入れるための新しい在留資格であり、これまでに受け入れてこなかった単純労働に従事する外国人も受け入れられるようになった。「特定技能」で外国人を受け入れるのは、介護や建設業など人材を確保することが困難な状況にある分野である。要件を満たせば家族の帯同も認められ、定住外国人の受け入れが進むことが予想されている。

(4) アチーブメントテスト (achievement test)

到達度テストとも呼ばれる。一定期間内で学習したことがどれだけ定着し、習得できたかを計測するテストである。通常、学期の途中や最後で行われ、その授業で使われたテキストの内容などを基にしたテストであることが多い。

(5) 心的辞書

メンタルレキシコンとも呼ぶ。単語に関する情報は、音、意味、文法の3つの性質のまとまりとして、脳内に保存されている。これが心的辞書である。

(6) ライマンの法則

日本語では複合語を形成する際、後部要素の語頭子音が清音から濁音に変化する連濁という現象が生じる場合がある。ライマンの法則とはこの連濁を妨げる制約に関する一般化で、後部要素に濁音が含まれる場合は連濁が生じないという法則である。例えば、「たから (宝)」と「はこ (箱)」が複合すると「たからばこ」と連濁するのに対し、後部要素が「くじ」のように濁音を含む場合には「たからぐじ」とはならず、「たからくじ」となる。

(7) 換喩 (かんゆ) metonymyと隠喩 (いんゆ) metaphor

換喩は概念の隣接性や包含の関係に基づいて、語句の意味を拡張して用いる用法のこと。アメリカ大統領官邸を指して「ホワイトハウスは次の声明を出した」、赤ずきんをかぶっている少

女を指して「赤ずきんちゃん」のようにいうのは、換喩を用いた表現である。隠喩は形態や性質の類似性によって結びついているものを指す。「子どもは宝だ。」「目玉焼き」などは、隠喩を用いた表現といえる。

(8) 二重分節 (性)

20世紀のフランスの言語学者André Martinetが提唱したものである。文を分解していくと、まず意味の単位としての「形態素」が抽出できる。これを第1次分節と呼ぶ。さらに形態素を分解していくと、意味を持たない「音素」が抽出できる。これを第2次分節と呼ぶ。人間の言語は、このような有限数の音素を組み合わせていくことにより、無限とも言える形態素を作り上げることができるのが、その特徴である。

(9) 自動詞と他動詞 (日本語の例を必ず取り上げなさい)

言語学的には「目的語を取らない動詞を自動詞、目的語を取る動詞を他動詞」と定義される。日本語においては、「名詞+を」の目的語を取るものが他動詞、取らないものが自動詞となる。ただし、「名詞+を」がすべて目的語となるわけではなく、「通る」など「通過」を表す動詞は、通過する場所を「名詞+を」で表すが、他動詞とは言えない。なぜなら、「名詞+を」の目的語を取る他動詞の場合、直接受身(「XがYをV」→「YがXに(よって)V(x)aれる」)に変換できるが、「通る」はそれができないからである。動詞の自他をめぐり日本語では、(1) 自動詞と他動詞のペアが存在する動詞(例: 落ちる/落とす)、(2) 自動詞しか存在しない無対自動詞(例: 死ぬ)、(3) 他動詞しか存在しない無対他動詞(例: 話す)、(4) 自動詞も他動詞も兼ねる自他動詞(例: 開く)、の4種類に分けられる。

(10) 指示語 (-詞) (日本語の場合について必ず言及しなさい)

話者からの心理的な「隔たり」によって区別される一連の語群を総称して呼んだ名称である。品詞は代名詞であったり、限定詞(連体詞)であったりする。話者を中心に置いて「指し示す」ことから、「直示的(deictic)」であり、英語や中国語のように2分割である場合や、日本語やスペイン語のように3分割の場合もある。日本語では「これ」「そいつ」「どこ」「この」「そう」「あっち」などの語頭の文字をとって、コソア(ド)と称されることがある。用法としては、話者からの実際の空間的距離感で区別する「現場指示」、テキスト上を指し示す「文脈指示」のほか、聞き手と話し手との共通理解を示すための「観念指示」や「記憶指示」を区別することもある。

(11) 強くてひ弱な国・日本—「外圧」

1990年代以降、日本は経済大国となったが、外圧には弱い。アメリカは貿易摩擦において長年改善を求め、それに対し、日本は少しずつ応じてきた。同時多発テロ事件と連動したアフガン戦争でも、アメリカの圧力により新法を制定して自衛隊をインド洋に派遣した。外圧に対してノーと云えないのは日本人の特性という説がある。

(12) 漢文訓読

日本人にとって、中国古典文は、返り点を付し、日本語の順番で、日本語の発音で読むものであり、中国語ではない。この読み方を訓読と呼ぶ。この読み方によって、中国古典文は、日本語となったのである。日本の高校において漢文は国語の一部である。

(13) 『日本人とユダヤ人』

日本人とユダヤ人との比較を行った文化論。出版当時はベストセラーとなった。その後、ユダヤ人作者、イダヤ・ペンダサンが山本七平と分かり、批判も多い。しかし、「日本人は水と安全

は無料と思っている」等、今日でも傾聴すべき意見もある。

(14) 本覚思想

もともとは中国の思想であったが、日本に入って、「人間はもともと悟っており、修行は必要ない」という独自の発展を遂げた。悟っている存在は、人間から動物、植物に広がり、本覚思想は和歌・茶の湯等中世文化に多大な影響を与えた。

(15) 『「日本」とは何か』

これまでの稲作中心の日本史を反省し、漁労・採集の重要性を指摘し、様々な文化が日本列島に存したことに着眼し、日本人＝単一民族を見直した書。近代の常識であった、進歩史観の見直しも行っている。

(16) 『日本封じ込め』

「封じ込め」という言葉は、冷戦時代において共産圏に対して使われたが、アメリカのジャーナリストがあえて日本に対して使っている。筆者、ジャームズ・ファローズは、日本を外交上では良きパートナーとしつつも、日本の経済膨張に警鐘を鳴らし、これ以上、日本の経済膨張が進めば、自由貿易制度を破壊する可能性がある、としている。

(17) 『風土』

哲学者、和辻哲郎が、ハイデッカー『存在と時間』に触発されて書いた本。『存在と時間』が時間性を中心に述べているに対し、本書は空間性を中心としている。「モンスーン」「砂漠」「牧場」の3類型を出発点に人間を分析している。比較文化論的見地による日本文化論的エッセイでもあり、戦後流行する日本文化論の先駆的存在とされる。

(18) 『誰が誰を叩いているのか』

日本政府による産業保護政策が、自由貿易体制の基本的理念である「比較優位」という理論を揺るがすものであることを提示した書。米民主党が政権交代のために準備した理論武装の一部である（出版はクリントン政権誕生後）。筆者、ローラ・タイソンは、クリントン政権に参画した。

(19) 恩

『菊と刀』において、「返済しなければならない人間の債務」とされる。同書では恩の返済を義理と関係付けている。義理が発生しない相手に対しては恩を返す必要がないのである。『菊と刀』の「恩」解釈には批判もあるが、昔話「鶴の恩返し」や時代劇「忠臣蔵」からも分かる通り、現在でも日本文化論の必須キーワードの一つである。

(20) 官僚制度

欧米人の日本論においては戦後日本の経済成長を推進したものとされる。『ジャパンアズナンバーワン』ではかなり肯定的に評価されている。1990年代以降、大蔵省による監督が不十分であったため、山一証券が廃業するなどの金融不祥事が続き、官僚制の有効性に疑問が提示されるようになった。

II 論述問題

1. メールや手紙で相手に何かを依頼する際、日本語では、前置きとして「お忙しい中恐縮ですが」といったように「相手の忙しさ」に言及することがあります。これは敬意を表す配慮表現の一つです。なぜこの表現が敬意の配慮表現になるのかを説明しなさい。次に、「よろしくお願いします」という決まり文句と関連を論じなさい。

評価基準

- 1 「相手の忙しさ」に言及することが、配慮表現になることが適切に説明されているか。
 - 2 「よろしくお願いします。」が、配慮表現になることが適切に説明されているか。
 - 3 「相手の忙しさ」に言及することと「よろしくお願いします」とが、相手への敬意を示すという点で関連していることが適切に説明されているか。
 - 4 学術分野の学術分野の論述における的確な論理構成や語彙表現の使用がなされているか。
2. 日本語教育では最近、「ことばを使ってできること」を重視して授業の計画や実施が行われるようになってきました。これについて、言語教授法の歴史的変遷を踏まえて説明しなさい。次に、この方式の利点を現在の日本語教育の現状に照らして論じなさい。

評価基準

- 1 「ことばを使ってできること」を重視した日本語教授法が「Can-do シラバス」であることを正しく説明できているか。
 - 2 これまでの日本語教授法では「構造シラバス」によることが多かったことなどが説明されているか。
 - 3 なぜ教授法に変遷があったかについて、説明できているか。
 - 4 「ことばを使ってできること」を重視した教授法の利点が、現在の日本語教育の現場に照らして示されているか。
 - 5 学術分野の論述における的確な論理構成や語彙表現の使用がなされているか。
3. 次の表は、国立国語研究所と Lago 言語研究所が開発した NINJAL-LWP for BCCWJ で「将来（出現頻度=8,748）」と「未来（出現頻度=4,100）」のコロケーションを二語比較した結果である。
(図省略)
- [1] この表からわかることを説明しなさい。
 - [2] この表に示されている以外の例も示しながら、「将来」と「未来」の違いについて説明しなさい。
 - [3] BCCWJ のような大規模コーパスを用いた研究の長所と短所について説明しなさい。

評価基準

- 1 表から読み取れる情報が的確に記述されている。
 - 2 将来と未来の違いが的確に説明できている。
 - 3 大規模コーパス研究の長所と短所が説明できている。
4. 以下の文章はハイムズが提唱した「伝達能力」(communicative competence) という概念についての説明である。

- [1] 「(チョムスキー (N. Chomsky) のいう) 「言語能力」(社会的・文化的コンテキストを排除した概念) だけでは言語使用に関する多くのことが説明できない」とは具体的にはどういうことか、日本語の例を示しながら説明しなさい。
- [2] 引用文の記述を踏まえるとハイムズのいう「伝達能力」には具体的にはどのようなものが含まれると考えられるか、日本語の例を示しながらできるだけ多面的に論じなさい。

評価基準

- 1 引用文の内容を正確に理解し、「言語能力」だけでは言語使用に関する多くのことが説明できない」が意味するところを的確に説明できているか。
- 2 「伝達能力」の具体的な内容について、多様な側面から論じられているか。
- 3 1と2についてそれぞれ適切な日本語の具体例が示されているか。

5. ファローズ、プレストウィッツ、ウォルフレンに代表されるリビジョニストの日本のマスメディアに対する評価と、ライシャワー、ヴォーゲルの評価の違いを踏まえた上で、日本におけるマスメディアの機能についてあなたの考えを述べなさい。

評価基準

- 1 リビジョニストの日本のマスメディアに対する批判、およびライシャワー、ヴォーゲルの肯定的評価の差異を踏まえているかどうか。
- 2 上記を踏まえた上で、具体例を挙げながら独自の考察を加えることができているかどうか。

6. 戦後の日本人論、日本論における榊原英資『文明としての日本型資本主義』の位置づけについて論じなさい。

評価基準

- 1 日本型システムの普遍性の根拠を日本の「文化」にもとめる榊原の主張を理解できているかどうか。
- 2 従来の日本人論、日本論の流れの中に位置付けて論じられているかどうか。